

## 自ら学ぶ子供の育成

南会津教育事務所では、「自ら学ぶ子供の育成」を今年度の指導の重点に置き、学校訪問や研修会を行って参りました。

### 【学級・授業づくりセミナー】

館岩中学校の大内綾子先生には「小中連携を意識した楽しく使える外国語授業づくり」、荒海中学校の田中元先生には「理科好きの子供を育てる授業づくり」というテーマで、実践事例を交えて授業づくりのポイントを教えてくださいました。また、事務所指導主事からは「少人数・複式学級における授業づくり」「学級づくりの視点を取り入れた算数・数学の授業づくり」についてお話しさせていただきました。

どのセミナーにも「体験型」の活動が組み込まれ、参加した先生方の笑顔がたくさん見られた研修会となりました。



### 【ふくしま『未来の教室』授業充実事業】

6月27日の地区別研修会では、ICT活用についての講演をもとに「課題設定のポイント」や「タブレットの効果的な活用事例」について理解を深めることができました。

荒海小学校での公開授業では、タブレット端末やホワイトボードなどを用いながら表現方法を自分で選択し、積極的に考えをまとめて話し合う姿が見られました。



只見中学校の公開授業では、自ら設定した古典作品の課題について、タブレット端末や辞書などを活用して、学びを深めていく姿が見られました。

### 【リーディングスキルを視点とした授業づくり研修会】

教師がRSTの視点で教科書を読むことは、児童生徒のつまづきや困難さを把握しやすくなるという利点があります。

研修会では、教科書を用いて「押さえておきたい内容・単語」や「児童生徒になじみのない表現・単語」等を抽出し、発問等の働きかけや学習活動について協議し、実態把握に基づく授業改善のポイントについて理解を深めることができました。



### 【令和4年度域内学力向上担当者研修会】

域内の「学力に伸びが見られた学校の取組」について明和小学校の鈴木美結先生と南会津中学校の星美和先生に実践を紹介していただきました。

明和小学校からは、学力向上グランドデザインを学級化した「学力向上学級化プラン」を週案に綴じて日常化を図り、ミドルスパンでの振り返りを行っている事例が紹介されました。



南会津中学校からは、「3つのゼロ」の実践についての紹介がありました。「生徒・教師・保護者の意識改革を目的として始まった『宿題ゼロ・やらされ感ゼロ・ストレス感ゼロ』の推進が、主体的な学びを引き出す授業改善と課題設定の工夫につながっていった」という事例の紹介がありました。

## 南会津夢教育2022

## 南会津の風土を踏まえ 一人一人が夢をかなえられる教育を目指して

### 特別支援教育の充実



### 【南会津地区県立特別支援学校の整備】

現在、新たな学校の整備を進めており、令和8年度開校が決定しています。小・中学校校舎は、現在の田島高等学校敷地内に新築し、高等部は同高等学校の既存校舎の一部を改修して活用する予定です。

高校と特別支援学校の両校において、児童生徒の交流や共同学習を通して「共に学び共に生きる教育」の推進を図ることにより、学校の魅力化、特色化につなげてまいります。



### こころ豊かな子供の育成

#### 【SSR（スペシャルサポートルーム）の取組】

域内の実践校では、SSRを利用している生徒が自分で毎日の時間割をつくり、見直しをもって活動しています。

「自分の居場所ができたこと」「スケジュールを見通せること」などによって、安心して登校できる環境が整い、昨年度よりも出席日数が増えてきています。



#### 【道徳教育地区別推進協議会】

10月31日に田島第二小学校で「道徳教育総合支援事業」研究公開が行われました。

「考え・議論し、自己を見つめる道徳科授業の充実に向けた各校の取組」についてグループごとに協議し、道徳科のねらいに迫り、道徳性を育成するための手立てについて考えました。

協議後には、福島県教育庁義務教育課指導主事から「ワークシートがあっても、自分の言葉で話すことが大切です。多様な価値観が出てくるような焦点化された発問を意識しましょう」という助言がありました。



#### 【教育的ニーズの整理】

研修会では、「教育的ニーズを3つの観点で整理すること」「具体的な支援の仕方がイメージできる個別的教育支援計画が大切であること」をお伝えしてきました。先生方が何気なく支援してうまくいったことの言語化が大切です。次年度に向けて計画を見直すときは、日頃の関わりを「〇〇のときは、△△できるように、～している」と言語化してみてください。

#### 【切れ目のない支援体制整備事業】

多くの学校から相談・研修支援の依頼をいただきました。下郷町では、子供と支援員の関わりを撮影し、話し合いで活用する研修を行いました。自分の関わりによって子供がどうだったかを客観的に振り返ることができ、有意義な研修となりました。適切な支援だったかを考えるだけでなく、子供の成長を感じることもできる、ぜひお勧めしたい研修の方法です。

### からだを大切にすることが子供の育成

#### 【15の春を見据えた自己マネジメント力の育成】

11月16日に行われた檜枝岐小・中学校の研究公開では、「15の春を見据えた自己マネジメント力の育成」についての実践紹介がありました。これは、高等学校進学のために15歳で村を離れる子供が多いことを踏まえ、子供と教師、地域が一体となって歯・口の健康づくりなどへの意識を高め、子供たちに確かな「自己マネジメント力」を育んでいこうという取組です。

参加者は、子供たちの歯みがきの様子を参観した後、養護教諭による実践発表を踏まえ、自校の実践に役立てようと熱心に研究協議に参加しました。

「自己マネジメント力」を育成することの大切さと、その具体的手法を確認できた有意義な研究公開となりました。



#### 【なわとびコンテストへの取組】

令和4年度ふくしまっ子健康マネジメントプランの体力向上ムーブメント事業、「みんなで跳ぼう！なわとびコンテスト」が開催され、今年度は域内の小学校10校が参加しました。

昨年度同様、域内のたくさんの小学校が上位の成績を残し、各学級の体力の高さとチームワークのよさを感じられました。

#### 【朝食について見直そう週間運動】

今年度も、「朝食について見直そう週間運動」へのご協力ありがとうございました。朝食の摂取率は、域内全体で昨年度より高まっています。

R3年度1回目(97.6%) → R4年度1回目(98.1%)  
R3年度2回目(97.4%) → R4年度2回目(97.8%)

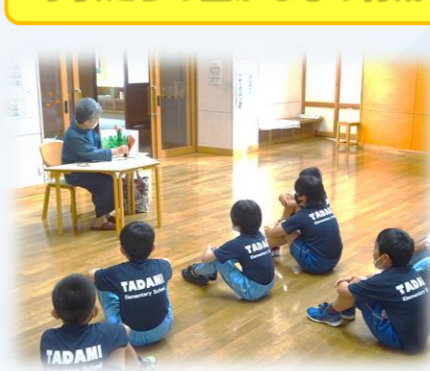
また、南会津域内では、朝食を摂ることの大切さに加え、自分手帳を活用した自己マネジメント力の育成に向けた実践事例もたくさん見られました。

田島小と江川小の取組が県のHPに掲載されています！

### 家庭教育支援の推進



### 子供たちの豊かな心の育成



### 地域学校協働の推進



本年度も社会教育課では『復興を担うたくましい「人づくり」』・『協働体制を構築する「地域づくり」』をめざし、事業を展開しました。

特に各種事業の訪問取材と情報発信の強化に努めてまいりました。南会津ならではの特色ある各取組は、南会津の自然や地域人材の力を生かしたいへん充実した内容であり、子供たちや指導にあたる地域の方々の表情からwin-winの関係がうかがい知ることができました。一方で少子高齢化・人口減少に伴う人材確保をはじめとする諸課題の解決が求められています。南会津のよさを絶やさない「持続可能」な事業のあり方について、情報提供と情報共有に努め、今後も4町村の“横のつながり”の強化の一助となるよう事務所としても取り組んでまいります。